

# 党市議会議員 中村あさと



6月10日にじいろ和歌山の島くみこさんの個人事務所開きがあり参加させて頂きました。島さんは、挨拶でこの間120回以上、街頭で演説し多くの方とお話をさせて頂いた。カジノはいらんとの声が多く、新しい建物が建っていくのも良いが、一人一人の市民の皆さんが、安心や希望が持てる事が和歌山が輝き元気になる」と確信していると話されました。その言葉は、穏やかではありましたが、とても力強く、島さんの決意が込められていました。

## 島くみこさんの事務所びらき

## 島くみこさん 穏やかで力強い決意を披露



また、にじいろ和歌山は様々な市民、団体、政党など市民参画型の団体。多様性が求められる今の社会の中で力を発揮出来る」と締めくくりました。

◆ ◆ ◆

7つの基本政策。①市民の声が生きる市政②子ども、若者に寄り添う③命、くらしによりそう④カジノはいりませぬ⑤高齢者、障害者によりそう⑥環境壊す計画はストップ⑦平和憲法を守り、憲法を暮らしに生かす

## 奥村のり子の赤旗読者ニュース

2018年6月17日 第316号  
奥村のり子生活相談所  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール w:jcpen@naxnet.or.jp

12日から6月定例議会が始まりました。今議会は議長や常任委員会など、新たに決めます。私は引き続き福祉環境委員会を希

### 河西後援会定例宣伝行動 (パーム前)



## 6月定例議会

## 子どもの暮らしと貧困のリアルな調査を実施へ

望んでいます。県民のいのちと暮らしを守るためには欠かせない委員会です。いま、ますます、県民の貧困と格差問題は深刻になっていきます。県として子どもの暮らしと貧困の実態をリアルに把握するよう求めていたところ、今年度の事業として予算化されたことをお伝えしました。現在、子ども未来課において具体的に作業が進んでいます。調査対象は県内小中学校に在籍している小学5年生(約7800人) 中学2

年生(約7900人)とその保護者に全数調査するものです。支援機関従事者に対する調査も行われます。6月18日に市町村に対する説明会開催、7月上旬には調査票配布開始予定になっていきます。調査は委託によって行われます。現在、調査項目案が検討されています。ぜひ、みなさんからもご意見をいただきたいと思います。一人一人の子どもが大切にされ、この調査が生かされるようみなさんと一緒に求めてまいります。(奥村のり子)

リレートーク

Relay Talk

## 来年の県・市議選・参院選躍進めざし 今から「特別月間」で党勢拡大へ

- 6月15日 休会 市駅前・宇治交差点朝宣伝 質問準備  
演観
- 16日 会議 河西後援会磯遊び 質問準備
- 17日 つどい 山下副委員長と語る会 質問準備
- 18日 休会 河西事務所無料生活相談 質問準備
- 19日 休会 質問準備
- 20日 一般質問希望日(未決定) 会議
- 21日 一般質問日 市駅無料生活相談 会議

6月11日共産党の第4回中央委員会総会(4中総)で志位委員長が冒頭に「新潟知事選の結果は、50万票を超える得票を得て大健闘の結果になりました。市民と野党の共同したたかいは今後につながる大きな財産をつくりました」と述べました。

そして4中総の中心課題は「参議院選挙・統一地方選挙躍進党勢拡大特別月間」として6月11日から9月30日まで設定することでした。会議では決議が採択され、「この『特別月間』の意義は、「何よりも、来年の参院選・統一地方選挙躍進の土台をきざすことにある。来年の参議院選挙は、市民と野党の共同勝利と日本共産党躍進によって、自民・公明とその補完勢力を少数に追い込み、政局の主導権を野党が握り、野党連合政

権に道を開く歴史的なたたかひになる」としています。参院選比例代表で「850万票、15%以上」の目標をかけた選挙区でも現有議席を確保し躍進する保障です。統一地方選挙にとつても必要不可欠な目標である。そのため9月30日までにすべての都道府県、地区、支部が党員と「しんぶん赤旗」日刊紙、日曜版読者で2016年参院選時を回復・突破することが目標です。

戦後最悪の反動政権を倒す力は市民と野党の共同であり、その流れを作りだすうえでも共産党が党勢の上げ潮を作り出すことが決定的な推進力になります。党員でない方はパンフ「入党のよびかけ」をお読みください。できれば入党を。またお知り合いにしんぶん赤旗をお進め下されば大変嬉しく党への激励となります。(編集室)

